

# 香港株式市場フラッシュ

## 3中全会で注目「民間経済促進法」、そして自動運転タクシー

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

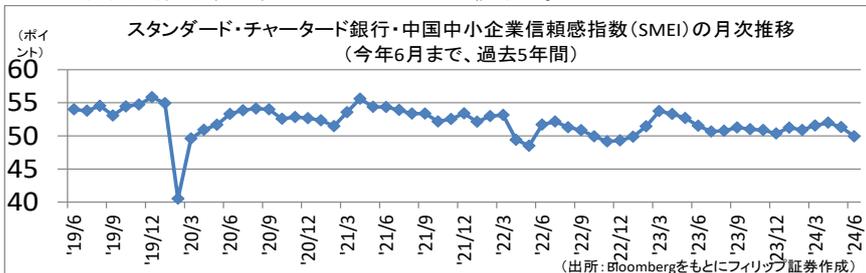
2024年7月24日号(7月24日作成)

### 「3中全会で注目される「民間経済促進法」

中国共産党の重要会議「3中全会(中央委員会第3回全体会議)」が今月15～18日に開催された。「3中全会」は党指導部や党序列上位200人の中央委員が参加する全体会議のうち、共産党大会(直近では22年10月に開催)後3回目に開く会議を指し、中長期の経済政策を話し合う。

党は21日、今回の3中全会で議論された「改革の更なる全面深化と中国式現代化の推進に関する決定」と題する全文を公表。米欧とは一線を画した独自の発展モデルとを意味する「中国式現代化」が強調されたものの、住宅・不動産不況対策など経済方針の大転換といった投資家の期待に沿うような内容ではなかった。

決定全文には、民間企業の参入を促すため「民間経済促進法」を制定し、国家事業への参加を容易にするほか、融資問題の解消にも取り組むといった内容も盛り込まれている。中国中小企業信頼感指数の推移にも見られるように、ここ数年の不動産やオンラインゲーム、学習塾など民間企業が中心となっている業界に対する厳しい規制で民間企業のセンチメントが冷え込んでいたことを鑑みると、民間経済促進を目指す法律起草に着手した点は注目に値する。

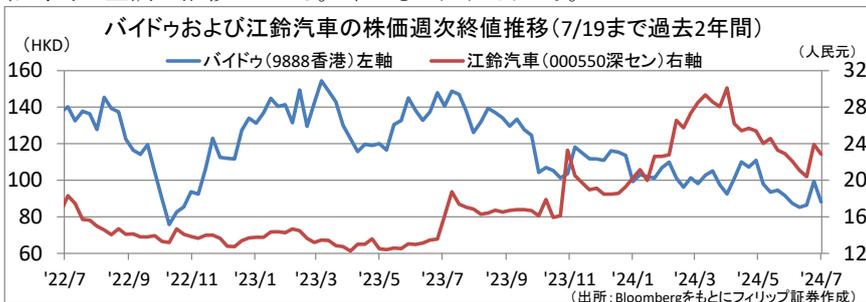


### 「自動運転タクシーの先端を行くバйдゥと江鈴汽車」

中国北京市経済・情報化局が「北京市自動運転自動車条例」について意見の一般公募を実施中だ。同市は、自動運転車の都市公共電気自動車(EV)旅客輸送、オンライン配車、レンタカーなどの都市モビリティサービスへの活用を支援していくとし、自動運転「レベル3」(渋滞時の高速道路走行中など限定された領域で全ての遠隔操作をシステムに任せることが可能)以上の自動運転車の市場主体に対し、明確かつ透明で予測可能な制度的規範を提供するとしている。

中国インターネット検索最大手の**百度[バйдゥ](9888 香港)**は同社の自動運転プラットフォームである「百度アポロ」の第6世代自動運転タクシーを、中国自動車大手で軽量商用車を主に扱う**江鈴汽車[JMC](000550 深セン)**と共同で今年末までに自動運転タクシー配車サービスへ投入すると表明している。バйдゥの自動運転タクシー配車サービスは、中国・湖北省武漢市の複雑な道路シーンで既に実用化されている。人口1300万人超の武漢市では、13の行政区のうち「スマートコネクテッドカー実験区」が12区をカバー。自動運転の「レベル4」(特定の条件下でシステムがすべての運転タスクを実施)の自動運転が許可された「実験開放道路」の総距離も着実に伸びている。

バйдゥの株価が足元では生成AI(人工知能)の収益化に時間がかかっていることもあり軟調に推移の一方、江鈴汽車はバйдゥへの自動運転車納車を好感して相対的に堅調に推移している。2社ともに注目されよう。



### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20240709 基準日: 20240723

順位	2023年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	中国海洋石油 [CNOOC]	61.4	2
2	中国聯通 [チャイナ・ユニコム]	55.9	5
3	中国宏橋集団 [チャイナ・ホンチャオ・グループ]	55.2	1
4	Meituan (美国)	44.2	9
5	華潤電力控股 [チャイナ・リソース・パワー・ホールディングス]	42.0	4
6	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	41.1	3
7	中国神華能源 [チャイナ・シェンワ・エナジー]	32.0	6
8	招商銀行	31.8	12
9	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	30.0	8
10	中国建設銀行 [チャイナ・コンストラクション・バンク]	27.3	14

順位	2023年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
96	藥明生物技術 [ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	-62.6	96
95	East Buy Holding Ltd	-58.8	95
94	蔚来汽車[ニオ]	-51.0	94
93	理想汽車	-47.2	91
92	JD Health International Inc (京東健康)	-47.2	92
91	金蝶國際軟件集團 [キングディー・ソフトウェア]	-37.3	84
90	小鹏汽車	-37.2	93
89	新世界發展 [ニューワールド・デベロップメント]	-35.8	89
88	Ping An Healthcare and Techn (平安好医生)	-32.5	90
87	恒隆地産 [ハンロン・プロパティーズ]	-32.2	88

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 【2024年7・8月: 中国主要経済指標】

- 7月12日(金)
  - ・6月貿易収支: 前回+826億USD、結果+990億USD
  - ・6月輸出<前年同月比>: 前回+7.6%、結果+8.6%
  - ・6月輸入<前年同月比>: 前回+1.8%、結果▲2.3%
  - ・6月資金調達総額: 前回14.80兆元、結果18.10兆元
  - ・6月新規人民元建て融資: 前回11.14兆元、結果13.27兆元
  - ・6月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+7.0%、結果+6.2%
- 7月15日(月)
  - ・2Q(4-6月期)GDP<前年同期比>: 前回+5.3%、結果+4.7%
  - ・6月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.7%、結果+2.0%
  - ・6月鉄工業生産<前年同月比>: 前回+5.6%、結果+5.3%
  - ・1-6月不動産投資<前年同月比>: 前回▲10.1%、結果▲10.1%
  - ・1-6月固定資産投資<前年同月比>: 前回+4.0%、結果+3.9%
  - ・6月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.71%、結果▲0.67%
  - ・6月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲30.5%、結果▲26.9%
  - ・6月調査失業率<前年同月比>: 前回5.0%、結果5.0%
- 7月22日(月)
  - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.45%、結果3.35%
  - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.95%、結果3.85%
- 7月27日(土)
  - ・1-6月工業利益<前年同月比>: 前回+3.4%
- 7月31日(水)
  - ・7月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.5
  - ・7月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.5
- 8月1日(木)
  - ・7月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.8
- 8月5日(月)
  - ・7月(財新)サービス部門PMI: 前回51.2
- 8月7日(水)
  - ・7月外貨準備高: 前回3.22兆USD
- 8月9日(金)
  - ・7月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.2%
  - ・7月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲0.8%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。